

建設水道常任委員会

建設水道常任委員会に付託された議案の内容と審査状況について報告します。

◆専決処分の承認を求めることについて

除雪に係る経費について緊急に予算措置を必要とし、専決処分したものです。

問 除雪費の執行済額について

答 3月10日現在で、約1億6000万円支出しています。

◆下水道条例の一部を改正する条例

使用態様を変更した際の届出の規定等を追加すると共に消費税法等の一部改正に伴い、公共下水道使用料について、所要の改正をするものです。

問 公共下水道使用料に消費税等の増税分を転嫁することは、市民生活に与える影響が大きい。市民の負担軽減のため、公共下水道使用料の見直し等を検討すべきではないか。

答 今後とも、県や近隣町村の動向を調査していきます。

平成25年度公共下水道事業特別会計補正予算

問 乾燥汚泥の保管用ハウスの設置経費を減額するに至った経緯と今後の対応について

答 当初予定していた乾燥汚泥の保管用ハウスの設置場所に未処理の仮置汚泥が残っていることから、この場所への当該ハウスの設置を断念することになりました。しかし、

1月から乾燥汚泥の搬出が始まったため、これが進めば、当該ハウスも不用となることも考えられますので、当該ハウスの設置については、今後の乾燥汚泥の搬出状況を見ながら判断します。

平成26年度公共下水道事業特別会計予算

問 仮置汚泥の現状と今後の見通しについて

答 仮置汚泥は現在、県の手配により、1日当たり約10トン、1月当たり約200トン搬出していますが、今後は搬出量の増加を県に要請し、平成26年度中に処分できるように努めます。

問 公共下水道事業の管路整備の進捗状況について

答 全体計画の約50パーセントの整備が完了しました。

平成26年度農業集落排水事業特別会計予算

問 農業集落排水災害関連事業の汚泥引抜き手数料の取り扱

いについて

答 この経費は、原発事故後、従前の汚泥処理が出来なくなつたことから生じるものでありますので、東京電力に賠償請求しています。

平成26年度個別排水処理事業特別会計予算

問 合併浄化槽事業の推進策について

答 これまでもチラシを配布するなどの広報活動を行ってきましたが、今後はさらに、町内会の総会等の場を借りて、直接、市民に対して、当該事業の内容を説明し、PRを行います。

平成26年度簡易水道事業特別会計予算

問 2月の大雪の際の大地域における応急給水の経緯について

答 大屋小学校で漏水があり、西原配水系の水量が減少したため、低区配水系から応急給水しました。その後、12月補正により予算が確保された西原配水系への増圧ポンプの設置工事が完了し、稼働できる見込みが立ちましたので、今後は、安定的な水道水の供給が図られます。

平成26年度水道事業会計予算

問 水道事業における受託工事の効果について

答 水道事業単独で行うよりは、受託工事により配水管の布設替えや新設を行うことで、新たな管路になると共に同時施工により、経費は節減されます。

平成26年度工業用水道事業会計予算

問 三菱ガス化学株式会社今後の使用水量の見込みについて

答 業務内容がまだ公表されていないので、現時点での使用水量は不明ですが、1日当たり4000トンの工業用水の供給が可能である旨を、会社側には伝えていきます。

平成25年度一般会計補正予算

問 都市公園等除染業務委託料が減額となる主な要因について

答 除染作業時に使用するフレコンバッグの単価が当初予算計上額に比べて、安価だったこと、加えて、搬出土量が見込みより少なかったため、フレコンバッグの使用枚数が

減少したことです。

問 繰越明許費の遊具等整備事業の経過及び今後の展開について

答 この事業は、中田の総合運動公園及び鶴子山公園の大型遊具、小型遊具の更新を国の補助により行うもので、地元住民等で構成された検討委員会が立ち上げられました。

検討委員会の中で、遊具の利用者の意見の集約等が行われ、これら意見等を反映した遊具の設計が了承されました。今後は、この設計に基づいた遊具を製作し、7月末までに当該公園に設置します。

平成26年度一般会計予算

問 文化財発掘事業の白川城跡発掘調査の今後の方向性について

答 白川城跡については、平成26年度も引き続き発掘調査を行い、その結果に基づいて平成27年度に国と国指定に向けた協議を進めていきます。

▼付託された議案は、いずれも原案のとおり承認、可決または同意しました。